

2019年4月3日

一般社団法人日本化学工業協会

日本毒性学会「第5回 日化協 LRI 賞」研究受賞者決定

一般社団法人 日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:淡輪 敏(三井化学㈱代表取締役社長)、以下「日化協」)は、研究者奨励(育成)の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた業績をあげた研究者を表彰するため、一般社団法人日本毒性学会(理事長 熊谷嘉人)内に設立した日化協 LRI^{*1} 賞の第5回目の受賞者を次の通り決定いたしました。

^{*1}Long-range Research Initiative=長期自主研究活動



[受賞者]

古武 弥一郎 (こたけ やいちろう)

広島大学大学院医歯薬保健学研究科 教授

[テーマ]

化学物質神経毒性の分子基盤解明と毒性評価指標の開発

[授賞理由]

化学物質の安全性評価において、人への影響及び詳細な作用機構を把握することは非常に重要です。今回授賞の研究は、主に以下の2点の業績を高く評価しました。

- ①有機スズ等神経毒性を有する化学物質が、生体内に存在するグルタミン酸受容体(GluR2)のタンパク質レベルを減少させることを見出す等、化学物質の神経毒性メカニズムの解明に貢献した。
- ②化学物質の神経毒性評価において、GluR2 の発現低下が評価指標として有用であることを示した。この評価指標を用いることで *In vitro* での鋭敏な神経毒性の予測評価手法として実用化が期待できる。

なお、授賞式は、2019年6月26日～28日にアスティとくしま(徳島県立産業観光交流センター)で開催される第46回日本毒性学会学術年会において執り行われます。

LRIとは、国際化学工業協会協議会(ICCA)に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援する自主活動です。日化協では2000年よりLRIを通じて、年間最大1億円の研究支援を始め、2015年にはLRIの認知拡大と理解促進のほか、優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して一般社団法人日本毒性学会内に「日化協LRI賞」を設立いたしました。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

一般の方から	:(一社)日本化学工業協会	LRI事務局	田所	TEL:03-3297-2575
報道関係者から	:(一社)日本化学工業協会	広報部	永井	TEL:03-3297-2555